



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL https://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	257	△85.5	△339	—	△340	—	△655	—
2020年2月期第1四半期	1,780	△2.9	59	△32.8	58	△34.4	45	△38.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△255.35	—
2020年2月期第1四半期	17.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	12,342	9,346	75.7
2020年2月期	12,714	10,008	78.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 9,346百万円 2020年2月期 10,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	2,572,871株	2020年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	4,415株	2020年2月期	4,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	2,568,456株	2020年2月期1Q	2,568,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。

当社では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、特に法人予約を中心にキャンセルや延期が相次ぎ、政府による緊急事態宣言以降は、お客様ならびに従業員への感染拡大を防ぐため、全店を休業いたしました。

2020年5月中旬以降、地方店舗より順次営業を再開し、6月1日には全店の営業を再開いたしました。営業再開に際し、新型コロナウイルス感染予防対策として、従業員の家族を含めた検温等の健康チェックにより、37℃以上の発熱など新型コロナウイルスに感染した疑いのある場合は、4日間程度の自宅待機とし、PCR検査で陰性が確認され、かつ、異常が無くなってから14日間を経過観察期間と設定し、出社の判断を行うなど社内感染防止に努めております。

また、マスクの着用、こまめな手洗い、アルコール消毒など什器備品・調理器具を含め、社内の設備・備品すべての消毒を徹底すると共に、店舗へ納品のあるお取引先様にも検温をお願いするなど、お客様や従業員の安全・安心のために全力を傾注しております。

また、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践とその定着のため当社ガイドラインを策定し、お客様ならびに従業員の安全・安心のため、客席の間隔の確保、料理のお取り分け、飛沫感染防止のための透明アクリル板等を設置いたしました。

これらの対策を実施するとともに、安全・安心なスペースをご提供することを、より多くのお客様にご案内することで、業績の回復に邁進してまいります。

大変厳しい状況下ではありますが、コスト圧縮等の対策を実行すると共に収束後を見据え、いま一度原点に立ち返り各種営業活動全般の見直し・点検を進めてまいりましたが、今後、新型コロナウイルス流行の第二波、第三波も想定し、厳しい経営環境が予想されるため、喫緊の課題として、新たなビジネスの創造に全社一丸となって取り組んでまいります。

また、管理面においては、人件費を中心とした経費全般のコントロールをこれまで以上に、より厳しく進めると共に、各店舗においては、営業日・営業時間の見直しを図り、店舗の特性に合わせた営業時間を設定し、経費削減に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第1四半期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年同四半期比85.5%減の2億5,757万円、売上高の減少に伴い、営業損失は3億3,968万円（前年同四半期は営業利益5,958万円）、経常損失は3億4,095万円（前年同四半期は経常利益5,883万円）となりました。また、臨時休業等による損失3億1,203万円を計上した結果、四半期純損失は6億5,585万円（前年同四半期は四半期純利益4,537万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ3億7,178万円減少いたしました。

これは主に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による店舗の休業に伴い、売掛金が3億4,162万円減少、借入の実行等により現金及び預金が5,319万円増加したことなどにより、流動資産が2億6,758万円の減少、固定資産が減価償却費の計上等により1億420万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ2億8,965万円増加いたしました。

これは主に、借入金が増加、買掛金が1億2,685万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ6億6,144万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失6億5,585万円の計上などによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想数値は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で先行きが不透明なことから、合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの感染拡大の動向を注視しながら、業績予想の公表が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	637,364	690,564
売掛金	353,448	11,818
商品及び製品	6,637	3,865
原材料及び貯蔵品	68,124	59,763
前払費用	63,054	64,201
その他	34,035	64,869
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,162,365	894,783
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,583,794	4,518,628
土地	4,982,303	4,982,303
その他(純額)	283,744	261,215
有形固定資産合計	9,849,843	9,762,147
無形固定資産	2,515	2,413
投資その他の資産		
投資有価証券	90,912	82,861
差入保証金	1,413,673	1,404,870
その他	195,739	195,590
貸倒引当金	△600	-
投資その他の資産合計	1,699,724	1,683,322
固定資産合計	11,552,083	11,447,883
資産合計	12,714,449	12,342,666
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,925	6,071
短期借入金	479,900	1,011,150
未払法人税等	51,000	62,600
賞与引当金	64,000	57,400
その他	369,531	365,191
流動負債合計	1,097,357	1,502,413
固定負債		
長期借入金	579,550	536,450
長期未払金	135,746	67,544
繰延税金負債	146,074	142,362
再評価に係る繰延税金負債	129,796	129,796
退職給付引当金	596,226	596,866
その他	21,686	20,665
固定負債合計	1,609,081	1,493,685
負債合計	2,706,439	2,996,098

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	2,291,633	1,635,779
自己株式	△9,976	△9,977
株主資本合計	11,415,437	10,759,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,076	5,488
土地再評価差額金	△1,418,503	△1,418,503
評価・換算差額等合計	△1,407,427	△1,413,014
純資産合計	10,008,010	9,346,567
負債純資産合計	12,714,449	12,342,666

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	1,780,770	257,577
売上原価	749,704	156,446
売上総利益	1,031,065	101,131
販売費及び一般管理費	971,483	440,818
営業利益又は営業損失(△)	59,582	△339,687
営業外収益		
受取利息	0	0
未回収商品券受入益	249	209
保険配当金	1,485	1,602
貸倒引当金戻入額	-	600
その他	825	546
営業外収益合計	2,560	2,958
営業外費用		
支払利息	2,715	3,676
その他	590	550
営業外費用合計	3,305	4,227
経常利益又は経常損失(△)	58,836	△340,956
特別損失		
固定資産除却損	724	31
臨時休業等による損失	-	312,038
特別損失合計	724	312,070
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	58,112	△653,027
法人税、住民税及び事業税	13,991	4,076
法人税等調整額	△1,249	△1,249
法人税等合計	12,742	2,826
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,370	△655,854

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛及び営業時間短縮等により、足元の業績に売上高減少などの影響が生じております。今後も当社の業績に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは不透明な状況にあります。

当社では、新型コロナウイルス感染症による影響は、特に当事業年度の上期において大きく影響するものと考えており、その後も一定期間影響が続くものと仮定し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

重要な資金の借入

当社は、2020年6月5日付で、以下のとおり当座貸越契約を締結いたしました。

また、当該当座貸越契約に基づき、200,000千円の借入を2020年6月30日付で実行いたしました。

1. 当座貸越契約締結の目的

今般の新型コロナウイルス感染症拡大及びその影響の長期化に備え、財務基盤のより一層の安定化を図ることを目的として当座貸越契約を新たに締結しております。

2. 当座貸越契約の概要

- ①借入先 : 株式会社みずほ銀行
- ②借入限度額 : 3,000,000千円
- ③契約期間 : 2020年6月30日より1年間
- ④借入金利 : 固定金利
- ⑤担保提供資産の有無 : 無